

【目的】

絵本の読み聞かせを題材として、「読書ボランティア人材養成講座」を開催し、課題である「若者の参加者をどのようにふやせば良いか」「修了者をどのように活動につなげれば良いか」について検証を行うことで、本市において地域で活躍するボランティア人材の発掘・育成に寄与することを目的とする。

【本講座の主なターゲット】

子育て世代

「読書ボランティア人材養成講座」改良（案）				
内容	令和4年度	主な意見	令和5年度改良（案）	期待する効果
日時	休日の午前中に開催	休日開催、平日開催（午前中）、開催日の増	A 10/27（金）11/10（金）AM B 10/27（金）11/10（金）夜 C 10/29（日）11/12（日）AM	休日と平日の2パターンおよび、午前中と夜間で開催することで、若い世代の参加者が増えることを期待する。また、参加しやすい日時の検証を行う。
会場	図書館のみ	開催日時等を工夫し、参加しやすい環境とする。	①②③ともフェリエ	開催場所を南草津駅に近いフェリエとし、若い世代の参加について検証する。
定員	30名	事務局案	10名×3コース	少人数制にし、一人一人に目の行き届きやすい講座にすることで、参加者の満足度を向上させる。
回数	1.5時間×3回	事務局案	1.5時間×2回	前回は、3回の講座すべてに参加できない講座受講者もいたため、2回に短縮することで、参加しやすくなることを狙う。
広報	市HP、広報くさつ、記者提供	SNSの活用、チラシ等配布	SNS、チラシの配布 市HP、広報くさつ、記者提供	若い世代に訴求するため、SNSを活用する。併せて、子育て世代の行きそうな場所にチラシを配布する。
チラシ	配布なし	市内各所へ配布 興味を持ってもらう工夫を施す ・参加しやすさをアピール ・参加メリットをアピール  (話し方の訓練になる、自己実現、社会貢献、人とのつながり)	関係機関や学校・店舗等に幅広く配布  託児有の旨記載 キャッチフレーズ・愛称を作る  受講のメリット・受講者の感想掲載 参加者に絵本1冊プレゼントの旨記載	前回はチラシを配布しておらず、講座の開催を知ってもらう機会が少なかったため、今回は子育て世代が行きそうな施設等にチラシを配布し、知ってもらう機会を増加させ、参加者増につなげ、効果的なチラシ配布先についての検証を行う。
申込方法	メール、電話、FAX	QRコードによる申し込み方法簡略化	電子申請システム（QRコード） メール、電話、FAX	電子申請システム（QRコード）を採用し、若い世代が申し込みしやすくし、どの申込方法が効果的かの検証を行う。
託児	託児なし	事務局案	託児有	託児を用意し、子育て世代が参加しやすくする。
受講後	LINEグループ・修了者交流会による横のつながり構築 ゆうゆうびとバンク登録による活動の場の情報提供	仲間づくりに役立つ 今後の活動が広がる	LINEグループや交流会の紹介 活動の場の情報提供 修了証の発行	講座受講後に、活動や仲間づくりにつながる具体的な情報や場を提供することで、修了者を活動に繋げられるよう働きかける。